

## 岩手県金融経済概況（2020年2月）

### 1. 概況

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、このところ弱い動きとなっている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、このところ弱い動きとなっている。公共投資は高水準ながらも減少している。住宅投資、設備投資は横ばい圏内の動きとなっている。

生産は、緩やかに持ち直しているが、足もと、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。

労働需給は、引き締まった状況が続いている。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回った。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、このところ弱い動きとなっている。足もとでは、サービス消費を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。

百貨店売上高（全店舗ベース；2020年1月）は、4ヵ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta$ 0.2%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2020年1月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+0.5%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2020年2月）は、5ヵ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta$ 10.9%）。

## (2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2020年2月）は、4ヵ月連続で前年を下回った（前年比△46.9%）。

新設住宅着工戸数（2020年1月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△35.7%）。

—— 持家（前年比△39.2%）は2ヵ月振りに前年を下回った。貸家（同△36.6%）は2ヵ月連続で前年を下回った。分譲（同△9.1%）は3ヵ月連続で前年を下回った。

民間設備投資（2019年12月短観ベース；2019年度計画）は、前年を上回る計画（前年比+2.8%）となっている。

—— 製造業、非製造業ともに、投資額が上方修正されたことから、製造業が前年を上回る計画（前年比+4.9%）となったほか、非製造業は前年並みの計画（同+0.0%）となった。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2020年1月）は、11ヵ月連続で前年を下回った（前年比△23.4%）。

## 3. 生産動向

生産は、緩やかに持ち直しているが、足もと、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。

鉱工業生産指数（季節調整値；2019年12月）は、4ヵ月振りに前月を下回った（前月比△2.1%）。

—— 主要業種別にみると、情報通信機械、化学、はん用機械が上昇した一方、輸送機械、食料品、印刷が低下した。

なお、四半期の動きをみると、2019/10～12月は3期連続で前期比増となった（2019/1～3月：前期比△7.1%、4～6月：同+1.2%、7～9月：同+2.3%、10～12月：同+1.9%）。

## 4. 雇用・所得動向

労働需給は、引き締まった状況が続いている。

有効求人倍率（季節調整値；2020年1月）は、1.26倍と前月と同水準となった（2013年5月以降81ヵ月連続で1.00倍以上＜過去最長＞）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；2020年1月）は、前年並みとなった（前年比△0.0%）。

雇用者所得（県内合計値；2019年12月）は、常用雇用指数（前年比△0.5%）が前年を下回ったほか、名目賃金指数（同△1.8%）が前年を下回ったことから、3ヵ月振りに前年を下回った（同△2.3%）。

## 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2020年2月）は、諸雑費、教育、光熱・水道が下落した一方、食料（外食等）、住居、交通・通信、家具・家事用品などが上昇したことから、前年を上回った（前年比+0.5%）。

## 6. 企業倒産

企業倒産（2020年2月）は、5件、360百万円（前年同月；6件、563百万円）と、引き続き低水準となっている。

## 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2020年1月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2020年1月）は前月と同水準となった。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>